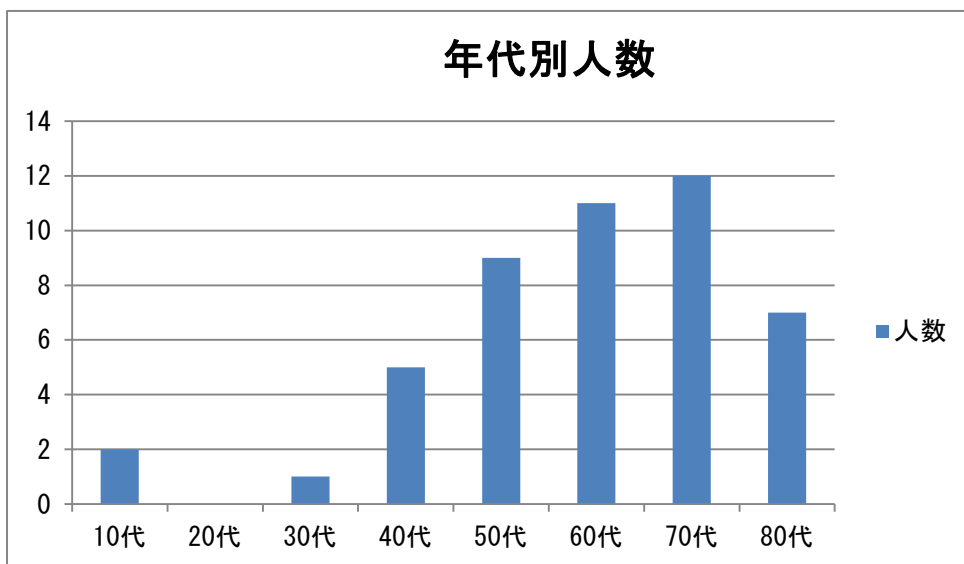


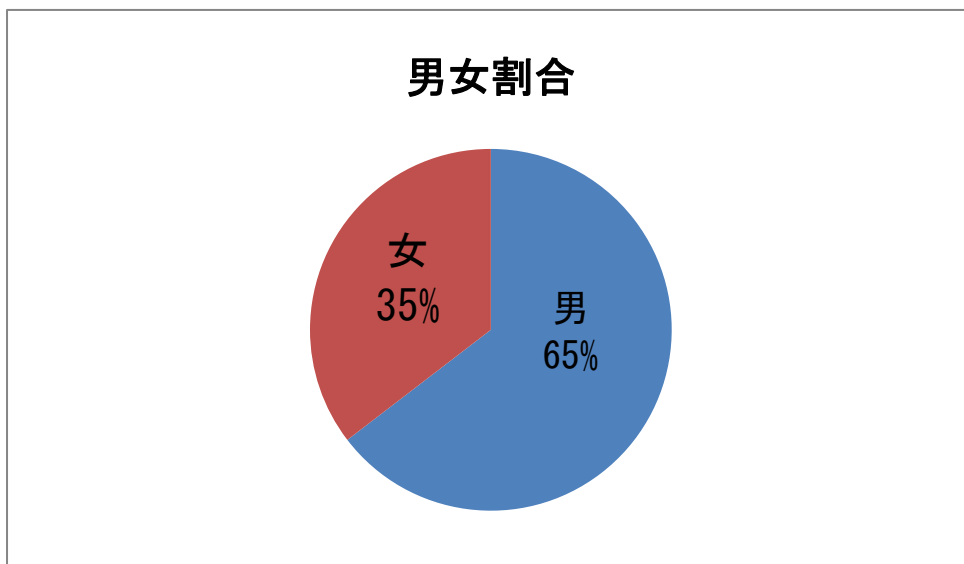
## 就労希望のある患者様についてのまとめ

2022.5～2024.4の期間で、高次脳機能障害（及び失語症）の患者様に関する情報について

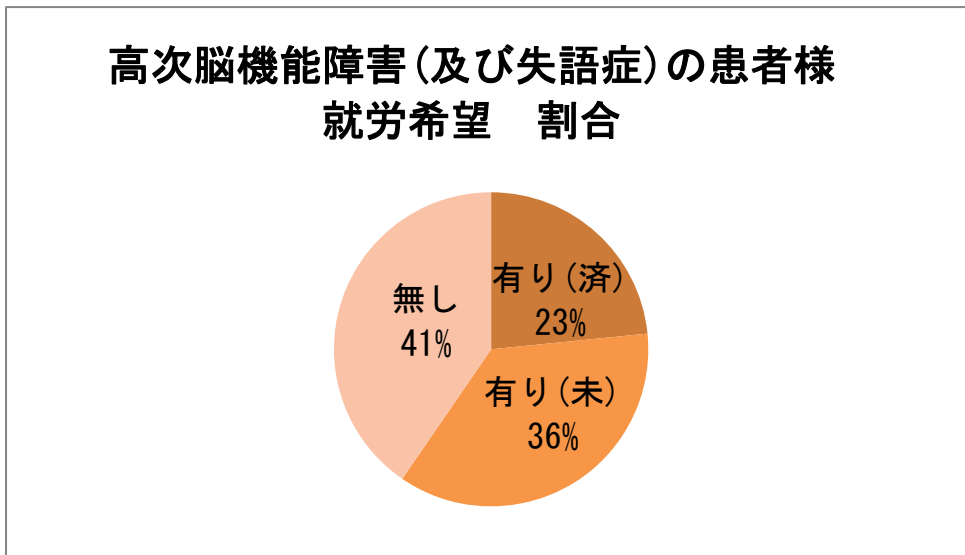
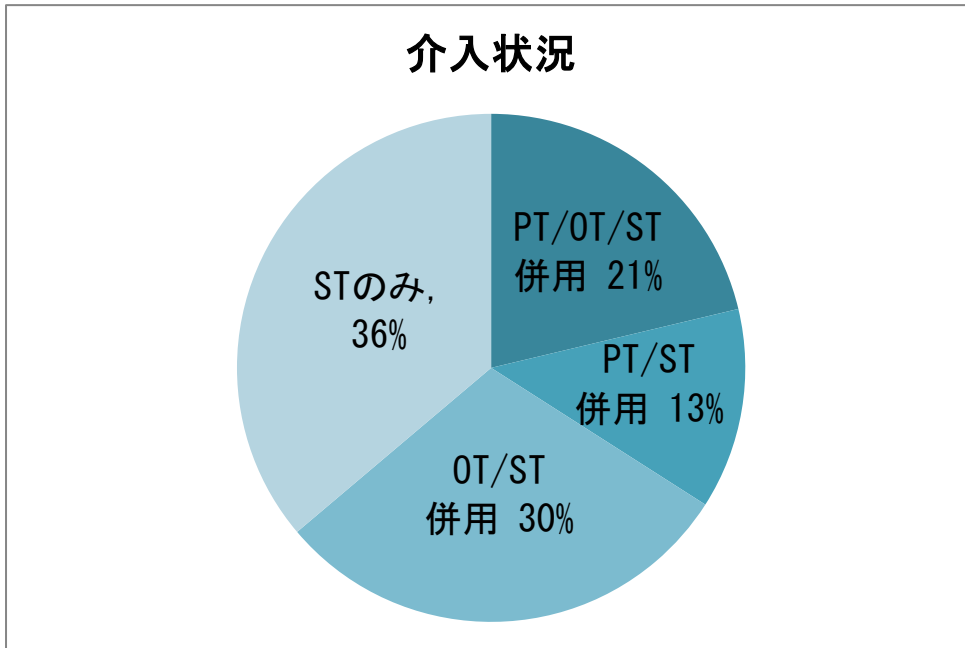
- ・疾患別リハ患者数162名のうち、47名が高次脳機能障害、失語症の方でした
- ・47名の年齢内訳は、10代2名、30代1名、40代5名、50代9名、60代11名、70代12名、80代7名で、70代が最も多く、全体の半数以上が60才以上となります。



- ・47名の男女比は、男性31名、女性17名で男性の割合が多い結果でした。



- ・患者様の障害像に合わせて理学療法、作業療法、言語聴覚療法の併用でリハビリ介入しています。



- ・就労希望の方は、 約 59% ( 28 名 / 47 名)
- ・就労希望の方のうち 11 名 (39%) は「元職場へ復帰」「部署など配置転換」「転職」にて就労達成しています。
- ・就労希望でまだ復職していない方 (61%) は、外来リハビリ通院の他に外部施設 (「さぽーとぴあ」や「就労移行支援事業所」) の併用しながら復職に向けて過ごしています。
- ・外来リハビリの通院は復職達成以降も継続している方が多く、生活と仕事の両立を優先できるよう状況確認を行いながら頻度を減らし、徐々に通院終了となるケースが多いです。